

## 1 1月定例記者会見要旨

初めに牛久沼フォトコンテスト2018の入賞作品決定の情報です。これは牛久沼の認知度向上やイメージアップなどを目的に、今年5月から約3か月間に渡り作品を募集したもので、応募総数292点の作品の中から、このたび最優秀賞・優秀賞・特別賞各一点、入賞4点の合計7点の入賞作品を選定いたしました。

入賞作品については、12月10日から12月25日まで本庁舎1階ホールで展示を行います。また、現在、入賞作品を掲載した「2019年版牛久沼カレンダー」を作成中で、12月10日から道の駅・牛久沼プロジェクト課で無料配布する予定です。多くの市民の皆様にご愛用いただければと考えております。

次に、東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ開催に向けた、「フィジー共和国大使館及びタイ王国大使館による講演会」についてです。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックにつきましては、開催まで2年を切って、ハードとソフト両面で準備が本格化しておりますが、本市においても流通経済大学との連携のもと、事前キャンプの招致活動や内閣府が進めるホストタウン関連の事業を進めております。

現時点で事前キャンプ実施が決定しているのはキューバ共和国柔道チーム、タイ王国陸上競技チーム、オセアニア地域柔道チームの3チーム、ホストタウン登録は、キューバ共和国、タイ王国、オセアニア地域のフィジー共和国及びグアムの4つの国・地域で、本年9月に発足した龍ヶ崎市スポーツ交流協会を中心に、さまざまな交流事業や研修などを通して、オリンピック開催への機運醸成を図っているところです。

特に、各小中学校においては、各国の文化等への理解を深め、事前キャンプでのおもてなしに役立てていただくため、各国大使館などによる講演や選手たちとの交流などを実施しているところですが、このたび市内小学生を対

象に「フィジー共和国大使館及びタイ王国大使館による講演」を実施することとなりましたので、お知らせいたします。期日は12月11日と1月22日で、龍ヶ崎・大宮・八原・城ノ内各小学校の児童を対象に実施いたします。

これらの事業のほか、4大会連続でオリンピックのトライアスロン競技に出場した本市ふるさと大使の田山寛豪（ひろかつ）選手をはじめ、本市ゆかりのオリンピックがいらっしゃいますので、市民の皆さんがオリンピックでの経験談を聞ける機会を設けるなど、今後もより多くの皆さんに関わっていただける環境を整えながら、2020年オリンピック東京大会に向けての機運醸成を図って参りたいと考えております。

最後の情報は12月15日（土）に行われる「第12回龍ヶ崎市中学校駅伝競走大会」についての情報です。

本大会は、子どもたちの健康な身体と心、そして仲間との絆を育むことを目的に、龍ヶ崎市・教育委員会・体育協会が共同で開催するもので、当日の運営には龍ヶ崎市陸上競技協会や流通経済大学陸上競技部の皆様にもご協力をいただいております。

コースは、市多目的陸上競技場「たつのこフィールド」をスタートし、城ノ内地区の歩道を周回する6区間、合計13.1kmのコースで、市内各6中学校から選抜された男女各2チーム、合計144名の選手たちが師走の龍ヶ崎を疾走します。

市民の皆様もぜひ会場やコースに足をお運びいただいて、子どもたちの力強い走りに暖かい声援を送っていただければと考えております。

以上で私からの情報提供を終わらせていただきます。情報の詳細につきましては、この後、担当から説明させていただきます。